



YSF-FIRST 2025 に参加し、Best Poster Presentation を受賞！

3月15日(土)横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校にて行われた、生徒課題研究発表会「YSF-FIRST2025」に78期5組松永旬平さんが参加し、Best Poster Presentation を受賞しました！

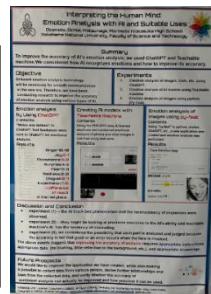
この発表会はSSH校の生徒が地域におけるサイエンス教育の中核となる科学フォーラムの場の形成を目的に、研究発表を通して研究の成果を共有するものです。ポスター作成、英語での発表、質疑応答にも英語で答えるという難易度の高いものです。研究内容は以下のとおりです。

【タイトル】

「Interpreting the Human Mind:
Emotion Analysis with AI and Suitable Uses」

【要約】

To improve the accuracy of AI's emotion analysis, we used ChatGPT and Teachable Machine. We considered how AI recognize emotions and how to improve its accuracy.



✿松永さんにお話を聞いてみました✿

Q：発表に向けて準備したこと

英語での発表だったので、まず翻訳ソフトを使ってポスターと原稿を英語にし、その後英語の先生に確認していただきながら、補助資料も作成し、原稿を覚えて何度も改善点を確認しながら発表練習をしました。当日は質疑応答もあると聞いていたので、自分の中で問われそうな質問とその回答をシミュレーションしました。

Q：会場の様子

会場には発表ブースとホールがあり、ブースでは他校の方々が発表の準備や練習をしていました。ホールには椅子とテーブルがあり、講義を聞きながらメモをとることができます。雰囲気は明るく、緊張が和らぎました。

Q：他校の発表を聞いて

様々な学校から様々なテーマの発表が集まっていて、中には中学生や留学生もいて、自分の知らない分野でも何度も試行錯誤しながら研究したことが伝わってくる、素晴らしい発表が多く、感銘をうけました。また、プトラ大学 Normi Mohd Yahaya 博士から実際に講義をいただいた事も印象に残っています。

Q：発表した感想

一人で英語の発表を他校の方や留学生の方に行うという体験は、不安もありましたが、聞かれた質問にもジェスチャーとスライドを駆使して伝わりやすい様に努力したことは英語や発表の経験として良いものになったと思います。しかし、まだまだ課題となる点も多いので改善していくたいと思いました。



Q：後輩へ一言

英語での発表は難しいと感じる方が多いと思いますが、まず自分の言いたいことの単語を話せれば、ある程度伝わります。そして難しいと感じる言い回しは、自分の分かる言葉で言い換えると、話しやすくなります。そして、失敗しても大丈夫、反省して次に生かそうという精神で、とにかくチャレンジすることが大切だと思いました。皆さんもぜひ自分の興味があることにチャレンジしてみてください！

実際に使用したポスターは昇降口に掲示しています。ぜひご覧ください！